認定 NPO 法人心澄　共同生活援助シェアホームおえん

2025 年度　地域連携推進会議

日時：2025 年 9 月 29 日（月）　10:00 – 12:00

会場：シェアホームおえん　リビング

参加者：社会福祉協議会、長崎市障害福祉課、自治会会長、長崎県こども若者総合相談センターゆめおす（入居者の身内枠）、入居者 8 名、おえん職員 4 名

1. 10:00　　開会あいさつ

理事長　宮本から開始のあいさつが行われた。

安全確保の観点から家族出入り禁止のため、家族の代わりにゆめおすスタッフが出席。このような特殊な施設であることも改めて説明を行った。

2. 10:10　　シェアホームおえん紹介および 2024 年度実績

管理者からパワーポイントを使用したおえんの紹介と昨年度の実績報告が行われた。

内容としては下記を参照

（ア）本人たち主観としてアンケートを取り、効果があった取り組みの説明

（イ）　　ACEsを基におえんに入居している者たちの現在の状況などの説明

（ウ）おえんの対象者や方針

（エ）イベント時や日常の写真を用いた説明

（オ）入所前の困難さと入居後の困難さの相関関係が認められる

（カ）今年度の事業計画

その後、質疑応答の時間が設けられた。

地域との連携については、日頃より密に行われており、職員と入居者が一緒に会合へ出席、地域でのお祭りの実行部隊としての活躍などが説明された。

そのため、地域からの要望などはとくにはなく、再確認という感じであり、今後も地域のイベントに適宜参加していく方針。

その中で、入居者はリスクが高いものを中心に入居してもらっていることなども説明し、理解ではなく全体への協力を仰ぐ土台作りとした。

なお、昨年度の「事故件数」と「ヒヤリ・苦情」は 0 件であった。避難訓練は年 2 回実施、虐待防止委員会も適宜実施。非常食等の確保も説明された。

3. 10:40　　おえん施設見学

おえんの説明後、施設案内を実施。見学の感想としては、建物をきれいに使用している事、住みやすそうである、などの建物に対しての前向きな意見がでている。

4. 11:10　　交流会

施設案内後、参加者同士の交流の時間を作り、外部機関に入居者とかかわる時間を持った。

5. 12:00　　閉会あいさつ

宮本から閉会あいさつがなされ、今回の「地域連携推進会議」を」終了した。

今後は 1 年に一回実施していく方針も伝え、日時については来年度調整の上決定する。

また、この地域連携推進会議の議事録は心澄のホームページで公表することとする。

以上